

令和元年度の取り組み

(1) 農業分野

- 農地植栽用に管理された苗木約 630 本を管理・育成
- 梅生産農家用の苗木を農地等に植栽 (44 園地・239 本)
(※農地 215 本、オープンガーデン 15 本、公園・児童遊園 9 本)
- 共同防除体制の継続



中道梅園に再植栽された梅樹

(2) 観光・商業分野

- 「吉野梅郷梅まつり」をはじめ各種集客イベントを開催
- 梅の公園 (88 本) 中道梅園 (2 本) に植栽
- 二俣尾・畑中・日向和田地区内の公園・児童遊園に植栽 (4 園地・9 本)
- 梅の公園に彼岸花 17,500 球を植栽
- オープンガーデンに植栽 (7 園地・39 本)



オープンガーデン

(3) 共通分野

- 強化対策地区 1、2 に加え、新たに地区 3 も含めて再植栽申請を行い国から認められた
- 中道梅園に東京青梅ロータリークラブからベンチ 5 台が寄付された
- 青梅駅周辺等に「梅の里再生プロジェクト」応援自動販売機 7 台が設置された
- 地方創生応援税制「企業版ふるさと納税」での寄付金 (8 社 1,300 千円)



寄付されたベンチ

青梅市梅の里再生計画

梅の里再生・復興プラン

令和2年度版

～ 咲かせよう! 僕らの夢と 梅の花 ～

青梅市公式キャラクター
「ゆめうめちゃん」

はじめに

このプランは、「青梅市梅の里再生計画」および「梅の里施設整備基本計画」を上位計画と位置づけ、計画に掲げた諸施策を着実に実施するため、令和2年度までに達成すべき目標および目標の達成のために取り組む重点事業を明確にするプランとして年度ごとに策定するものです。

本年度は計画の最終年度になるので、目標の到達に向けて事業に取り組むとともに梅の里青梅の将来のために必要となる事業について検討します。



再植栽された「梅の公園」

プランの進行管理

プランの推進に当たっては、P P V 対策の取組状況や計画事業の進捗状況を的確に捉えて、プランを策定し、梅の里再生・復興の効果的な推進を図ります。

プランに掲げる各施策の効果を客観的に評価できる指標として、分野ごとに到達目標を定めるとともに、令和2年度までに達成する目標値を設定します。

青梅市梅の里再生計画

梅の里再生・復興プラン(令和2年度版)

■ 発行者 / 青梅市

■ 発行日 / 令和2年3月

■ 企画編集 / 青梅市経済スポーツ部梅の里再生担当

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL : 0428-22-1111 (代表)

達成すべき目標および令和2年度重点事業

(1) 農業分野

目標：ウメ生産の早期再開・回復

- 農地への梅樹再植栽を促進する
- 梅生産への支援体制の充実を図る
- 再植栽樹のウメの生産・出荷を目指す



再植栽された農地（梅郷地区）

指 標	単位	H28年度 現況	H29年度 現況	H30年度 現況	R元年度 現況	R2年度 到達目標
強化対策地区内における農地の再植栽樹数	本	2,003	805(注) 累計 2,808	400(注) 累計 3,208	215 累計 3,423	累計 3,600
強化対策地区内における梅の収穫量	トン	0	0	0.25	0.5	2

(注) H29・30年度の樹数は早期成園化技術(ジョイント栽培(※1))の再植栽本数を含む。

令和2年度 重点事業1 農地への植栽および農地再生への支援

- ・農地への植栽
- ・苗木の育成・管理および購入 [2, 419千円]
- ・援農ボランティア事業
- ・共同防除体制の継続実施

(2) 観光・商業分野

目標：多くの観光客が訪れる観梅名所の早期復活

- 梅の公園への仮植栽梅樹等の再植栽を実施する
- 公園等施設の整備を推進する
- 集客イベントを充実し、周辺観光エリアとの連携強化を図る
- オープンガーデン(※2)への植栽を促進する



施設整備が進む梅の公園

指 標	単位	H28年度 現況	H29年度 現況	H30年度 現況	R元年度 現況	R2年度 到達目標
梅の公園植栽樹数	本	600	339(注) 累計 939	246(注) 累計 1,185	57(注) 累計 1,242	目標の1,200本を達成(注2)
梅の公園来園者数	人	7,441 (H26年度)	27,989	26,629	11,107	40,000

(注) H29・30年度およびR元年度の樹数はそれぞれ枯損による植替え分を除く。

(注2) R2年度は梅の公園への新規再植栽は行わない。

令和2年度 重点事業2 梅の公園への植栽および施設整備

- ・梅の公園の植栽および施設整備 [70, 379千円]

令和2年度 重点事業3 観光客の誘致

- ・集客拠点として、中道梅園の整備に続き、天満公園の整備を実施 [729千円]
- ・JR各駅へのポスター・パンフレット掲示に加え、ウェブ広告によるPRを行い、幅広い世代を対象に発信していく [3, 243千円]

(3) 共通分野

目標：ウイルスのまん延防止と梅の再植栽

- 強化対策事業を実施する
- ウメ輪紋ウイルスのまん延防止をする
- 梅の里再生基金の活用を図る



梅の公園に設置された「寄付者芳名板」

令和2年度 重点事業4 ウメ輪紋ウイルス防除対策の実施

- ・強化対策の実施(再植栽樹を含む) [55, 803千円]
- ・市民への防除対策周知および協力依頼 [532千円]

指 標	単位	H28年度 現況	H29年度 現況	H30年度 現況	R元年度 現況	R2年度 到達目標
再植栽可能地区数	地区	3	4	8	8	緊急防除区域の解除
梅の里再生基金積立総額	千円	67,330 (H27年度)	99,292	121,744	135,000	150,000

令和2年度 重点事業5 梅の里再生資金の確保・活用

- ・梅の里再生周知啓発活動の実施 [91千円]
- ・ふるさと納税と寄付金の活用

※1 ジョイント栽培：樹と樹をつなげることで果実の早期・安定生産および低樹化による低労化を同時に図る栽培技術
[]の金額は、令和2年度当初予算額です

※2 オープンガーデン：民家の庭などに植栽してある梅の木を一般に開放している場所